

全日本國の革命の命を担はす
其の大義の爲に、其の
一、其の
二、其の
三、其の
四、其の
五、其の
六、其の
七、其の
八、其の
九、其の
十、其の

しめなければならぬ。
今、全國會議内にある種々の意見の主なる特徴を舉げるならば、
次の如くである。
一、全國會議は全室内の反対派であるとす説と、全國會議は全室内
が本流であつて現總本部こそ不審な全室内外のものであるとす説
との對立
二、全國會議は全室内の左翼派の組織であるとす考へと、これは
全室内の全大衆の機軸であるとす考
三、全國會議は社會民主主義政黨支持強制反對の爲の左翼の連絡協
議の機軸であるとす考へと、指導統制の機軸であるとす考
四、恒常的機軸であるとす考へと、一時的非常時の機軸或はキャンパ
の機軸であるとす考
五、全國會議は縣聊單位とすべしとする考へと地協を基礎とすべし
となす考